

「地域を灯す竹あかりプロジェクト」をスタートします！**～動物園から始まるSDGsワークショップ～**

千葉市動物公園では、竹を題材としたワークショップなどのイベントを開催することで、来園者が環境問題やSDGs、ネイチャーポジティブについて考え、行動するきっかけを作る「地域を灯す竹あかりプロジェクト」をスタートしますので、お知らせします。

1 背景

地球温暖化や海洋プラスチック汚染などの環境問題が懸念されるなか、木材やプラスチックに代わる素材として「竹」が注目されています。また竹は成長が早く、竹炭は調湿・消臭、土壌・水質改善など多様な効果を持ちます。一方、竹の異常繁殖は「竹害」として、森林や里山の生物多様性低下を引き起こすため、当園でも余剰竹が課題となっています。

2 「地域を灯す竹あかりプロジェクト」について

当園では「SDGsやネイチャーポジティブにつながる社会変革を動物園から起こす」という使命の下、「地域を灯す竹あかりプロジェクト」を始動します。本プロジェクトでは、竹を伐採するだけでなく、余剰竹を「竹あかり」として園内を照らし、その後は竹炭として大池の水質改善や花壇の土壌改善に活用します。

来園者にこのワークショップを体験していただくことで、SDGsやネイチャーポジティブについて考え、行動するきっかけを作ることを目指します。

3 プロジェクト概要

園内で伐採した竹で竹あかりを制作します。竹あかりは8月に開催する「トワイライトZOO」（詳細は別途発表）や日没時刻が早いクリスマスシーズンに、園内の足元を照らす明かりとして活用します。また竹あかりで使用した竹はイベント終了後に竹炭に加工し、大池の水質改善、園内花壇等の土壌改善に役立てます。

(1) 竹あかり制作ワークショップ**ア 日時**

7月20日（日）、26日（土）

8月2日（土）、4日（月）、9日（土）、10日（日）

各日 10:00～、11:00～、13:00～、14:00～、15:00～

イ 場所

動物科学館1階レクチャールーム（8月9日、10日は中央広場）

ウ 参加費

1組 2,000円（別途入園料）



竹あかり



エ 参加方法

事前申し込み制。以下のURLからお申し込みください。

【URL】<https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/02aqmntvjkg41.html>

空きがある場合は当日現地での申し込みも可能です。

オ 定員

各回先着10組（1組の人数制限はありません）

カ 竹あかりの活用

1組につき2個制作し、自由にデザインや名前を入れることが可能です。制作した竹あかりの1個はお持ち帰りいただき、夏休みの宿題などにご活用いただけます。

もう1個は、8月開催の「トワイライトZOO」およびクリスマスシーズンの足元を照らす明かりとして活用します。

(2) 竹炭づくりワークショップ・大池水質改善・園内花壇土壌改善イベント

ア 日時

令和8年3月下旬実施予定（詳細は追ってホームページ等でお知らせします）

イ 参加費

無料（別途入園料）

※対象は竹あかり制作ワークショップ参加者



竹炭

4 運営体制

- ・企画 千葉市動物公園・有限会社オクト
- ・運営 有限会社オクト
- ・協力 公益財団法人イオン環境財団

<参考>

1 ネイチャーポジティブについて

ネイチャーポジティブとは、自然の損失を食い止め、回復させ、さらに豊かにしていくという考え方です。これまでの環境活動が「マイナスをゼロにする」目標だったのに対し、ネイチャーポジティブは「プラスに転じる」ことを目指します。

生物多様性の危機が進む中、自然資本を回復させることが人類の持続可能な発展に不可欠とされています。森林や海洋の再生、持続可能な生産・消費、そして自然への投資を通じて、企業や個人のあらゆる活動で自然と共存する社会を実現しようとする、国際的な新しい潮流です。

2 公益財団法人イオン環境財団との連携について

千葉市は、動物公園における生物多様性に関する生態系調査・保全の計画および実施、植樹、環境教育、ボランティア活動等を通じて、生物多様性の保全に貢献し、地域住民の環境への関心や意識を高めるため、令和5年7月13日に公益財団法人イオン環境財団と連携協定を締結しました。

○協定に基づきこれまでに実施した取り組み

- ・正門エリアへのサクラの植樹（土壌改良、間伐を実施し、枯死したサクラの補植）
- ・森林整備ボランティア活動（大池、駐車場周辺の清掃）